

介護老人保健施設ライフサポートねりま

症 例 概 要 利用者氏名: 90代 女性 要介護4

病 名: 廃用症候群

利用サービス: 入所

経 過: 令和3年4月から入所。胸痛が出現し、病院を受診するも内服治療にて症状は軽快。その後、徐々にADLが低下。ショートステイ入所後、体重減少が見られる。リハビリテーション目的にて当老健入所。

内 容

廃用症候群でのADL低下からリハビリ希望で当施設入所となった。入所時は車イス移乗も介助が必要な状態であったが、入所前はシルバーカーで歩いて買い物にも行かれていた為、歩けるようになって自宅へ帰りたく強い希望がありました。

リハビリによる歩行訓練に加え、浮腫の改善のための薬剤調整やリハビリ時間以外での歩行練習を設けるなど、ご本人の希望を叶えるための積極的な取り組みをチームで行った。最初にご本人の性格から、職員に対して、かなり遠慮されていました。それを察した、担当のセラピストからこの施設の職員全員が【手助けをしたいと思っていること】【願いが実現することが職員にとっても喜びであること】を伝えて、ご本人の気持ちに寄り添うよう心掛けた。その会話以降、徐々にご本人からも歩行練習の回数を増やしてほしいなどの意欲的な言葉が増え、気持ちが前向きになり、現在はシルバーカー自立歩行ができるまでになった。

歩行以外にも排泄、整容についても自立で行える事が増え、一時は施設退所を考えていましたが、ご希望の自宅退所が出来ることになりました。

ご本人からは『この施設に来たおかげで、歩けるようになるだけでなく出来る事が増えて自宅に帰れることが本当にうれしい』との感謝の言葉も聞かれました。

自信がついたことで、その人らしく生きていくことが出来、施設での生活が楽しい時間となり、笑顔が溢れ、輝きの一日となった症例。